

# 米子市文化財保護審議会 (令和2年度 第2回)

日 時 令和3年3月22日(月) 13時～16時  
場 所 米子市淀江庁舎 大会議室

## 日 程

- 1 文化振興課長挨拶(13:00～)
- 2 事務連絡、現地へバス移動
- 3 現地視察(13:30～) 三の丸駐車場・石馬・石馬顕彰碑・絵画土器・上淀廃寺壁画
- 4 挨拶(審議会会長)
- 5 議 事(14:30～16:00)
  - (1) 米子市指定文化財(有形文化財)の指定について(諮問)
- 6 報 告
  - (1) 令和2年度(下半期)文化財保護事業実施状況について
  - (2) 令和3年度文化財保護事業実施計画について
  - (3) 国史跡米子城跡の追加指定について
  - (4) 国登録有形文化財の新規登録について
  - (5) その他
- 7 その他

文起第1585号-1  
令和3年2月19日

米子市文化財保護審議会  
会長 田中 秀明 様

米子市教育委員会



米子市指定文化財の指定について（諮問）

米子市文化財保護条例（平成17年米子市条例第77号）第3条第1項の規定による米子市指定有形文化財の指定をしたいので、同条例第3条第2項の規定により諮問します。

5 議 事

米子市指定文化財候補物件

区 分	種 別	名 称	所在地	数 量	所有者・管理者
新規指定	有形文化財	長砂経塚出土品	米子市福市（米子市埋蔵文化財センター）	一括	米子市

【資料解説】（ながすなきょうづかしゅつどひん）

釈迦入滅後の仏教思想の変遷を示す末法思想によって生まれた経塚は、県内では平安時代から室町時代までの33か所が知られている。このうち紙に経典を写経した場合、経巻が残存することはほとんどなく、経巻、経筒、外容器の揃った経塚出土品として貴重な考古資料。

区 分	種 別	名 称	所在地	数 量	所有者・管理者
新規指定	有形文化財	中山経塚出土品	米子市福市（米子市埋蔵文化財センター）	一括	米子市

【資料解説】（なかやまきょうづかしゅつどひん）

釈迦入滅後の仏教思想の変遷を示す末法思想によって生まれた経塚は、県内では平安時代から室町時代までの33か所が知られている。このうち発見時の経緯が知られ、経筒、外容器片の揃った経塚出土品として貴重な考古資料。

区 分	種 別	名 称	所在地	数 量	所有者・管理者
新規指定	有形文化財	石馬顕彰の石碑	米子市淀江町福岡（天神垣神社）	1基	天神垣神社

【資料解説】（いしうまけんしょうのせきひ）

明治34年に東京大学人類学教授であった坪井正五郎博士によって重要性が指摘された石馬は国重要文化財に指定され、淀江地域が考古学研究のメッカとして知られるようになった。この石碑は、地元有志による石馬保存会が明治36年に建立したもので、石馬発見の顛末を語る重要な歴史資料。

指定候補物件写真①「長砂経塚出土品」



指定候補物件写真②「中山経塚出土品」



指定候補物件写真③「石馬顕彰の石碑」



石馬屬上世埴輪 一種同制者  
 天下唯在筑紫国造磐井墳壙者  
 一而已古來建祠而祀焉明治初  
 年為宮所廢風打雨摧漸將殘破  
 三十四年八月人類学泰斗坪井  
 博士鑑賞以為希世珍爾後來訪  
 者接踵今茲村民相謀欲傳之不  
 朽疊石為礎構木為屋二十六年  
 三月工成予往年以為博士東道  
 受囑記之由來云爾

淀江 足立 正

【読み下し】

石馬は上世(上古)埴輪の一種に屬す。

其の制は天下に唯筑紫の国造磐井墳に在ると同じ。

壙は一つ而已。古來祠を建てて祀る。

明治初年宮所廢れし為に風打ち雨催き斬く將に殘波せんとす。

三十四年八月人類学の泰斗(第一人者)坪井博士鑑賞以て希世の珍と為す。

爾後(それ以來)來訪する者踵を接す。

今茲に村民相謀りて之を伝えんと欲す。

石を疊ね礎と為し木を構えて屋と為し朽ちず。

二十六年三月工成る。

予往年(先年)以て博士の東道(道家内)と為り囑(たのみ)を

受け之の由來を記すと爾云つ。



### 石馬保存會寄附金人名

- 一金一円 坪井正五郎
- 一金二円 森田泰治
- 一金三円 中西又一郎
- 一金三円 国頭房太郎
- 一金五円 吹野鉄四郎
- 一金十円 坂口平兵衛
- 一金四円 泉頭宇三郎
- 一金三円 吹野儀三郎
- 一金二円 池口敬造
- 一金二円 森田虎造
- 一金一円 倉光又十

- 一金一円 谷尾範吾
- 一金一円 柄川恭三
- 一金一円 大谷林三郎
- 一金一円 石原慎吾
- 一金一円 中西寛次郎
- 一金一円 太田市太郎
- 一金一円 足立常太郎
- 一金一円 田原忠三郎
- 一金一円 綱谷金治
- 一金一円 木下義之
- 一金一円 藤岡直藏
- 一金一円 渡辺水
- 一金一円 佐伯友光
- 一金一円 野波令藏
- 一金一円 山本熊吉
- 一金一円 角田頼吉
- 一金一円 鷺見康重
- 一金一円 足羽章巧

- 一金一円 岩本龜造
- 一金一円 渡辺新藏
- 一金一円 日置秀造
- 一金一円 神波信吾
- 一金一円 山口実藏
- 一金一円 船越弥一郎
- 一金一円 長谷川●造
- 一金一円 青砥寿郎
- 一金一円 廣富政藏
- 一金一円 大森経三
- 一金一円 田中永次
- 一金一円 安東傳藏
- 一金一円 国井邦次郎
- 一金一円 田中嘉十郎
- 一金一円 沢田希造
- 一金一円 前田収藏
- 一金一円 小川辰藏
- 一金一円 国谷 亨
- 一金一円 高場保藏





(令和3年3月19日現在)

## ① 文化財指定関係 (P14 参照)

国指定 国史跡米子城跡追加指定(三の丸) . . . . 報告事項(3)

市指定 有形文化財・貴布禰神社石造唐獅子、桃形兜

令和2年10月28日米子市教育委員会告示

⇒新指定文化財展示公開(令和2年12月6日～令和3年2月7日/山陰歴史館)

## ② 文化財登録関係 (P15 参照)

国登録有形文化財(建造物) 旧外江屋店舗(米子まちなか観光案内所)

令和3年3月19日 答申 . . . . 報告事項(4)

## ③ 現状変更許可関係 (P9 参照)

## ④ 埋蔵文化財関係 (P10 参照)

ア 市内遺跡発掘調査事業

開発に伴う遺跡の有無、範囲、性格などを確認する試掘調査を14ヶ所実施。

イ 百塚88号墳発掘調査事業

鳥取県環境事業センターが計画する産業廃棄物最終処分場建設工事に伴う事前の発掘調査。

ウ 博労町遺跡発掘調査事業

啓成小学校の新築工事に伴う発掘調査。砂丘上に展開する集落遺跡。

エ 保存活用事業

出土品整理、写真パネル作成、なかよし学級古代体験12校

## ⑤ 史跡整備関係

ア 史跡青木遺跡整備事業 . . . . 5号地の法面崩落個所の試掘調査、測量工事設計を実施。

イ 史跡福市遺跡整備事業 . . . . 日焼山地区の法面崩落個所の試掘調査、測量工事設計を実施。

ウ 史跡米子城跡保存整備事業

(ア) 整備検討委員会 整備基本計画に基づき、今後の米子城跡整備について検討する。  
令和2年度第2回を3月15日に開催。

(イ) 危険木の伐採 遺構の保護及び来訪者、近隣施設の安全確保のために番所跡下斜面とテニスコート西側周辺の危険木を57本伐採。

(ウ) 補助事業 石垣カルテ作成、赤色立体図作成を実施。

(エ) 発掘調査 内容確認調査として枳形の石垣、園路整備に伴う事前の確認調

査を実施。

- (オ) ソフト事業 米子城 魅せるプロジェクトの実施。  
米子城跡ウォーク、米子城歴史講座、城山自然ツアー、追加指定記念対談、三の丸パークフェス(3月27日(土)開催予定)

#### ⑥名勝・天然記念物関係 (P11 参照)

- ・オオサンショウウオ 件数6件(内マイクロチップ挿入5件)

番号	体長	体重	備考
個体1	体長75cm	体重3,500g	
個体2	体長57cm	体重2,700g	死亡個体
個体3	体長67cm	体重2,000g	
個体4	体長85cm	体重4,200g	
個体5	体長57cm	体重1,500g	
個体6	体長72cm	体重2,100g	

#### ⑦無形民俗文化財関係

- ア 日吉神社神幸神事(ヨイトマカセ) 5月3日開催予定の神事を新型コロナウイルス感染防止のため中止した。  
イ 第54回米子盆踊大会 8月14日開催予定の大会を新型コロナウイルス感染防止のため中止した。  
ウ 弓浜半島及び近隣地域のトンド 米子市トンド保存会に14地区15集落が加入。また、トンド用具等の修繕のため調査をおこなった。

#### ⑧無形文化財関係

- ア 弓浜緋 ……保存会が保護事業(資料収集、体験講座など)に着手  
新型コロナウイルス感染防止のため講習会を中止した。  
イ 淀江傘製造技術 ……後継者育成に着手(県、市の助成金事業、研修生1名育成中)、  
2年間の研修期間を1年間延長し、新作の和傘作りに着手

#### ⑨有形文化財関係

- ア 県指定保護文化財旧日ノ丸自動車法勝寺鉄道車両(フ50号付随客車)の保存修理  
屋根と台車部分の再塗装と、破損していた雨樋の補修を実施した。  
イ 市指定有形文化財米子市役所旧館の耐震診断調査  
耐震診断結果は、IS値が0.33となった。

#### ⑩その他

- ア 活用事業実施状況  
(ア) 史跡上淀廃寺跡 ……彼岸花まつり(9月23日~26日)



(イ) 史跡妻木晩田遺跡・・・GWはむきばんだ日和、なりきり弥生人生活、むきばんだ祭りなどはコロナウイルスで中止。

空んぼむきばんだ(10月31日～11月8日)

(ウ) 史跡米子城跡・・・米子城・魅せるプロジェクト(米子城跡ウォーク、天守之大掃除、ライトアップ春・夏・秋・冬の陣、米子城歴史講座、城山自然ツアー、追加指定記念対談、三の丸パークフェス(3月27日(土)開催予定)

## 令和2年度史跡名勝天然記念物現状変更許可状況一覧

(令和2年4月～令和3年2月)

	種別	名称	地区・地域	許可申請者	現状変更の概要	許可年月日	許可権者
1	国史跡	青木遺跡	米子市永江	米子市長 伊木 隆司	法面補強工事	R2. 6. 1	文化庁長官
2	国史跡	福市遺跡	米子市福市	米子市長	法面補強工事	R2. 6. 14	文化庁長官
3	国史跡	米子城跡	米子市久米町 ほか	米子市長	遺構・石垣確認 調査	R2. 4. 17	文化庁長官
4	国指定	福市遺跡	米子市福市	米子市長	階段手すり設置	R2. 6. 1	米子市教育委員会
5	国指定	福市遺跡	米子市福市	米子市長	危険樹木伐採	R2. 7. 14	米子市教育委員会
6	市指定	米子市役所旧館	米子市中町	米子市長	耐震診断コア抜き	R2. 8. 17	米子市教育委員会
7	国史跡	妻木晩田遺跡	米子市淀江町 福岡	むきばんだ公園 所長	ハウス設置	R3. 1. 22	米子市教育委員会
8	国史跡	米子城跡	米子市久米町 ほか	米子市選挙管理 委員会委員長	市長・市議会選挙に係るポスター 掲示板	R3. 1. 22	米子市教育委員会

## 令和 2 年度市内遺跡発掘調査事業 調査結果一覧

(令和 3 年 3 月 1 8 日現在)

	調査遺跡名	調査地	調査面積 (㎡)	調査原因	検出遺構	出土遺物
1	陰田町所在遺跡	米子市陰田町	7.5	学校改修	なし	なし
2	米子城跡第 56 次調査	米子市西町	3	病院棟建設	なし	なし
3	石州府 10 号墳	米子市石州府	1,000	農地開発	周溝	須恵器・陶磁器
4	福市遺跡(四塚地区)	米子市福市	36	宅地造成	なし	なし
5	米子城跡第 57 次調査	米子市加茂町	6	部室棟建設	なし	陶器
6	富繁所在遺跡	米子市淀江町福頼	4	鉄塔建設	なし	土器・陶磁器
7	青木所在遺跡	米子市青木	18	宅地造成	なし	なし
8	古市所在遺跡	米子市古市	27	河川改修	なし	なし
9	米子城跡第 58 次調査	米子市久米町	300	駐車場造成	建物基礎	瓦・陶磁器
10	目久美町所在遺跡	米子市目久美町	160	鉄塔建設	なし	なし
11	新山 25 号墳	米子市古市	16	宅地造成	なし	須恵器
12	目久美町所在遺跡	米子市目久美町	6	立体歩道建設	なし	なし
13	栄開拓第 2 遺跡	米子市石州府	243	工場用地	なし	縄文土器
14	米子城跡第 59 次調査	米子市久米町	40	内容確認	米蔵基礎	瓦・陶磁器

令和2年度 オオサンショウウオ放流記録写真



写真1 4/5 放流の様子



写真2 4/23 死亡個体発見時



写真3 5/11 放流の様子



写真4 5/18 放流の様子



写真5 7/14 放流の様子



写真6 2/19 放流の様子

## (2) 令和3年度文化財保護事業 実施計画

### ①文化財保存活用地域計画策定（令和4年度策定・国認定予定）

### ②埋蔵文化財関係

#### ・市内遺跡発掘調査事業

開発に伴う遺跡の有無などを確認する試掘調査等を現時点で9件予定

#### ・史跡等の測量と内容確認調査

尾高城跡の航空レーザー測量による赤色立体図作成と内容確認発掘調査

### ③史跡整備関係

#### ア 史跡青木遺跡整備事業

5号地の法面崩落防止工事实施。

#### イ 史跡福市遺跡整備事業

日焼山地区法面崩落防止工事实施。

#### ウ 史跡米子城跡保存整備事業

(ア) 整備検討委員会 整備基本計画に基づいた史跡整備に関する方針、方法等について協議する。年度内2回実施予定。

(イ) 危険木の伐採 遺構を毀損する恐れのある危険木、園路付近の来訪者に危険を及ぼす可能性の高い危険木の伐採を実施する。

(ウ) 発掘調査 内容確認調査として三の丸、園路の発掘調査を実施する。

(エ) 石垣調査 崩落の危険性が高い二の丸裏中御門跡の石垣について、石垣カルテを作成する。

(オ) 石垣修理事業 崩壊の進んでいる枡形石垣の積み直し修理を行うための、設計業務。

### ④名勝・天然記念物関係

・オオサンショウウオの保護・・・河川改修に伴う事前踏査、放流など

・コウノトリの情報収集・・・飛来、繁殖の情報収集など

### ⑤無形民俗文化財関係

・弓浜半島及び近隣地域のトンド

現在14地区14集落を対象に指定を働きかけている。

5集落のトンド用具等の修繕を実施

## ⑥ 無形文化財

- ・弓浜緋の保存事業（古い緋の収集、保存、緋製作体験講座の実施等）
- ・淀江傘製造技術の伝承・・・後継者育成（令和3年度11月終了）

## ⑦ その他

- ・活用事業実施計画  
史跡米子城跡・・・米子城・魅せるプロジェクト 2021  
（発掘現場公開、米子城ライトアップ 2022、講演会講師派遣）

## ⑧ 文化財指定及び登録文化財の候補について

### ア 国指定

国史跡指定候補 尾高城跡（現在米子市指定史跡）

### イ 市指定候補案件について

- （ア）長砂経塚出土品（今回諮問）
- （イ）中山経塚出土品（今回諮問）
- （ウ）石馬顕彰の石碑（今回諮問）
- （エ）掩体壕
- （オ）セントロマントロ
- （カ）D51蒸気機関車
- （キ）勝田土手（新土手）、宗像土手
- （ク）車尾の道標

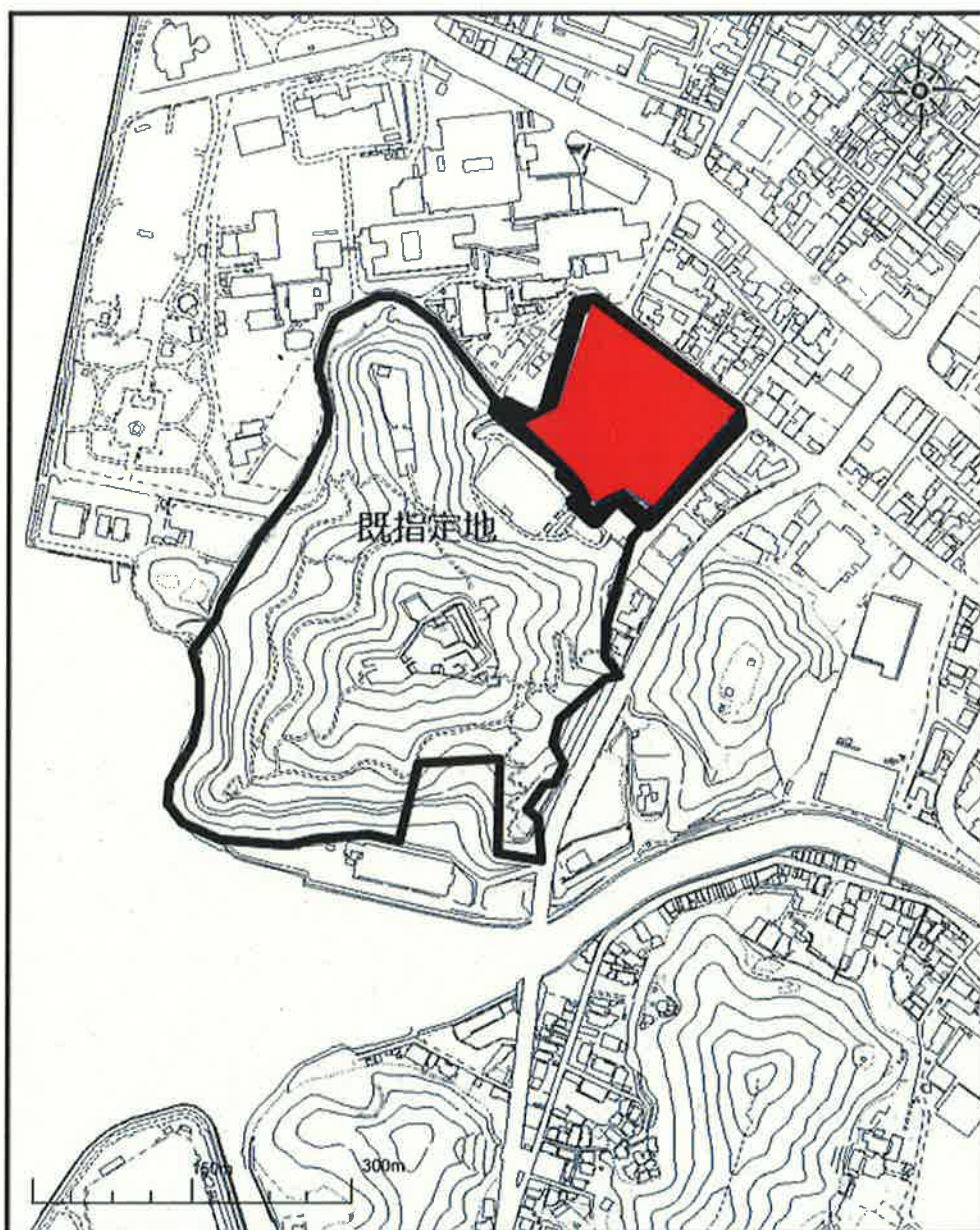
### ウ 国登録文化財（建造物）候補案件について

- （ア）判屋船越家住宅（意見具申済）
- （イ）旧角盤町郵便局（角盤文庫）
- （ウ）後藤分家長楽軒



## 史跡米子城跡（三の丸）に係る国追加指定について

このたび、米子城跡三の丸（旧湊山球場敷地）について、国史跡の追加指定の告示が、3月26日(金)に出される予定となりました。追加指定の範囲は以下の通りです。



### 史跡米子城跡発掘調査現地公開 2021 三の丸 PARK Fes 同時開催

- 1.日 時 令和3年3月27日(土) 午前10時30分～午後3時30分
- 2.集合場所 米子城三の丸広場、枅形

※調査担当者が現地で随時解説します。

※参加無料、事前申込不要、少雨決行。

※駐車場は、米子城跡三の丸駐車場をご利用ください。

※満車時は、市役所駐車場をご利用下さい。

## 国登録有形文化財

# 旧外江屋店舗（米子まちなか観光案内所）の概要

### 1. 文化財登録制度について

文化財登録制度は、近年の国土開発、都市計画の進展などにより社会的評価を受ける間もなく消滅の危機にさらされている多種多様かつ大量の近代等の文化財を後世に継承していくためにつくられた制度であり、平成8年10月1日施行の文化財保護法の一部改正により導入された。

この制度は、築50年を経過した歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財登録原簿に登録し、届出制と指導・助言等を基本とする緩やかな保護措置を講じて保存と活用を図るもので、従来の指定制度を補完するものである。

#### 【登録有形文化財（建造物）登録基準】（対象：建造物、土木構造物及びその他の工作物）

原則として建築後50年を経過し、かつ次の各号の一に該当するもの

- 1) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- 2) 造形の規範となっているもの
- 3) 再現することが容易でないもの

#### 【文化財登録原簿への登録件数】（R3.3.16 現在）

全国	12,965件	鳥取県内	241件	米子市内	12件
令和3年3月19日答申の物件数					
全国	132件	鳥取県内	5件	米子市内	1件

### 2. 今回の登録答申に係る概要

1. 登録名称	旧外江屋店舗（きゅうとのえやてんぼ）（米子まちなか観光案内所）
2. 所在地	鳥取県米子市灘町一丁目19他
3. 所有者	個人所有
4. 登録基準	1) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
5. 建物の概要等	<p>木造2階建てで、間口4間、奥行4間半と米子の町家としては小規模である。屋根は棧瓦葺であるが、勾配は緩く、当初は板葺きであったとも考えられる。間取りは二列奥行三室で、トオリニワ側の中ほどには天井が張られておらず、上部に神棚を設けるなど、当地域の典型的な町家の形式を伝えている。オクノマの床の間は奥行が浅く、町家における床の間の初期的姿を伝えている。ミセとナカノマの境には径1尺余り、手斧仕上げの太い梁が桁行いっぱい伸びており、この建物の特色となっている。建築年代については、宝暦13年（1763）と慶応2年（1866）の棟札があり、太い梁の古材が用いられていることなどから宝暦13年に建てられた家を古材も利用して慶応2年に建て直したと考えられ、昭和34年頃、平成30年に改修されている。</p> <p>旧所有者（茅野家）の祖先は境港の外江から江戸時代になって灘町に移ったと伝わる。外江屋の屋号はこの経緯に由来しており、灘町に移ってからは魚屋・問屋を商い、明治から昭和時代にかけては海産物問屋として取引先は</p>



北海道、満鮮地方におよんだ。外江屋の屋敷は、明治時代には本店・出店と二筆になっているが、現存する外江屋店舗は、出店に相当する。

米子の旧市街地は、江戸時代に形成された町人町の町並みを色濃く残しており、現存する町家遺構や町並みなどの見学会が盛んに行われている。旧外江屋店舗は、建物の間取りは、中央部に神棚を上げた吹き抜けのある米子の町家として古い姿を伝える建築遺構として貴重である。

なお、数年前に県外在住の所有者（茅野家18代）から建物の譲渡について「米子町家町並再生プロジェクト」に相談があり、同プロジェクトのメンバーの所有となった。修復に際してのワークショップでは米子高専建築学科も参画し、内部の架構は変更せずに補修、正面ファサードは前所有者の記憶をたよりに修復が試みられた。現在は一般社団法人米子観光まちづくり公社が「米子まちなか観光案内所」の事務所として使用し、米子界限の観光案内の拠点になるとともに、米子の町家・町並みの保存再生活動の拠点となっている。

### 【建物の写真】



旧外江屋店舗外観



オクノマ（床の間）↑



ミセ（梁細部）



棟札→